

JIA 関東甲信越支部長活動報告

2015年9月+10月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

本部役員候補者選挙立候補届けが9月25日に締め切られ、その後の選挙管理委員会で承認され10月15日には次期理事候補者が告示されました。次期会長候補者として六鹿正治さん、次期関東甲信越支部長理事候補者として藤沼傑さんが選出され、2016年6月の本部総会決議を経て就任される予定です。この二つの役職に相応しい人材を探す中で偶然にも組織事務所を代表するお二人となりました。UIA東京大会の成功、公益社団法人として再出発という大事業を初めとした芦原会長の活躍の成果として、JIAはかつてないほど一般社会、行政並びに関連団体から期待される団体になっています。お二人にはJIAの更なる社会的評価の増進と会の発展に寄与していただき、特に小事務所で活躍される会員のためにご尽力いただきたいと期待いたします。

9月15日、「新国立競技場公募型プロポーザルについての意見書」を新国立競技場整備計画再検討のための関係閣僚会議長並びに推進室長、(独法)日本スポーツ振興センター理事長宛てに芦原会長名で提出いたしました。提出先関係者と会長との間で意見書について意見交換が行われ、その後のプロポーザルの展開に影響を与えたと考えています。

<http://www.jia.or.jp/resources/news/000/658/0000658/5U9JxZ00.pdf>

支部長活動報告

9月

- 1日 支部大会実行委員会学術部会WGに出席。準会員を巻き込んだ展開を考えている。JIAの裾野を広げる活動として支部大会は良いきっかけだ。
- 3日 建築家会館の本8冊目となる阪田誠造さんの「建築家の誠実」出版記念会に出席する。出版を機にこれまでの業績を讃えると共に、我々後輩の良き鑑としてますますお元気で活躍頂きたいと考える。
- 4日 支部役員会が開催される。会員種別変更者については入会金を免除すること、支部選挙管理委員会の発足について審議し承認される。2015年度地域会活動費についての協議。後援名義、新国立競技場対応WGの発足、

- 支部大会実行委員会進捗、等について報告し意見交換する。夕刻より会員集会が開催される。7月23日開催の地域サミットで新国立競技場に関する会員集会開催の要望がありこの日の開催に至った。趣旨説明、新国立競技場対応WGの設置、経緯の説明に続き、会長より7月23日の会長提言書についての説明があり、会場から様々な意見が出された。(詳細はBulletin 2015.11 vol.259を参照)
- 7日 アクションプラン特別委員会にオブザーバー参加する。意見交換の後、①広報②CPD(会員サービス)③会員資格をそれぞれ3つのWGとして議論を深めることになる。
- 8日 建築まちづくり委員会が開催される。9/17の全国大会でのシンポジウムについて、来年の支部大会についての報告後、自治体向けコンペ支援、を議題に議論する。
- 15日 「新国立競技場公募型プロポーザルについての意見書」を芦原会長名で新国立競技場整備関連機関へ出す。
- 17日 19日までJIA全国大会が金沢で開催される。世界中で活躍する建築家が目白押しの講演会やシンポジウムが3日間続き、初日は東茶屋街の9店舗を会場に街中宴会が催され、レセプションパーティーは金沢城址公園で開催する(あいにくの雨でしたが)など、記憶に残る良い大会だった。
- 24日 新国立競技場WGが開催される。7月の地域サミットでの議論を踏まえて建築まちづくり・都市まちづくり委員会合同のWGとして発足した。会員からの意見を受け止めて内容を検討し、内容によっては会長に進言する機関として運営する。
- 25日 支部災害対策委員会主催のシンポジウムが開催される。昨年に続き「震災復興と災害対策セミナー」の第2回で、兵庫、東北、長野、東京のJIA会員並びに都市計画や地域安全の専門家をパネラーに迎えて、コミュニティーアーキテクトとして都市直下型地震に備えることをテーマに講演並びにシンポジウムが開催された。
- 28日 本部総務委員会が開催される。昨年度までフェローシップ委員会が担ってきた会員管理を今年度より本部総務委員会が担うことになった。入退会を初めとした会員管理審査をよりスムーズに行うために、支部責任の徹底を各支部執行部並びに総務委員会、フェローシップ委員会に対してアナウンスする。災害対策ファンドの取り扱いについて、今年度フェロー会員募集について。
- 29日 支部大会実行委員会が開催される。学術部会から大会テーマについて報告がある。議論の末、「ここにあるものー建築まちづくりの七転び八起き」をテーマとする。メインのシンポジウムを土曜日にセットし、日曜日は市民との接点を中心にプログラムを組む。

10月

- 1日 東京三会建築会議が開催される。東京都財務局DBの基本設計が終了したのでその後の展開について、BIMについて、9/15JIA意見書について。
- 6日 新国立競技場WGが開催される。9/4会員集会については亀井都市まちづくり委員長がまとめたBulletin掲載記事をもって議事録掲示とする。本WGに対する意見受付について、記名者に限りメールにて受け付けることにする。
- 9日 正副会長会議が開催される。業務受託を伴う事業活動（仮称：タスクフォース）を位置づけるために理事会で議論する予定。森副会長、総務委員会、財務事業管理委員会を中心に枠組みを検討した報告を行い、委員会規程改正案について議論する。
- 13日 本部総務委員会が開催される。入退会審査、委員会規程改正について。
- 16日 支部法人協力会員と正会員との交流の場であるフレンズカップが千葉泉カントリー倶楽部で開催される。例年通り出席者70名弱の大きなコンペとなったが、今年は特に正会員の参加が少ない。来年はぜひ多くの皆さんに参加してもらいたいと思う。懇親会終了後、羽田空港より渡欧し26日まで不在。
- 27日 支部大会実行委員会が開催される。群馬地域会の委員により群馬県下の市行政庁による空き家対策状況と専門家に期待される点などの調査結果が報告される。若手建築家を対象とした実施コンペ開催について。支部常任幹事会が開催される。地域サミット議題について議論し決定する。
①支部収支バランス及び地域会活動費②行政アプローチ活動。他に事業活動助成、役員選挙結果、活動及び業務執行状況、など。新国立競技場についてメールによる意見書受付設置を承認する。また、11月16日には出直しコンペの締め切りがあり、2週間程度後には案の公表が行われると予想される。県単位からも役員が集まる12月4日の支部役員会後に、シンポジウムを開催することにする。

支部長活動報告 2015年9+10月

2015年11月3日作成 上浪 寛